



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東
 コード番号 9366 URL http://www.srt.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 三浦 康英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 西村 哲 (TEL) 03-3471-0011
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,741	△1.7	17	119.6	△26	—	△31	—
25年3月期第1四半期	3,806	0.9	7	△73.4	△20	—	△30	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 120百万円(-%) 25年3月期第1四半期 △71百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△5.28	—
25年3月期第1四半期	△5.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	22,798	6,798	29.4	1,117.88
25年3月期	22,978	6,751	29.0	1,109.49

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 6,710百万円 25年3月期 6,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	12.25	—	12.25	24.5
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定であります。

詳細は、平成25年5月14日公表の「平成25年3月期決算短信」添付資料7ページ

「1. (3)利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	2.8	130	△13.5	60	△35.4	10	△68.0	1.67
通期	17,000	10.5	680	2,459.2	530	—	310	—	51.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	6,006,373株	25年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,514株	25年3月期	3,514株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	6,002,859株	25年3月期1Q	6,002,927株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
継続企業の前提に関する注記	9
株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
セグメント情報等	9
重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済状況は、新政権による経済政策が着実に顕在化しはじめ、家計や企業の景況感が高まりつつあるものの、為替相場や株価は乱高下を繰り返しており、景気回復が実体経済に反映しているとは言い難い状況であります。一方で、欧州経済の停滞や、中国経済の景気拡大減速、また、急激な円安を背景とした輸入原材料高騰などの不安要素も見られ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

物流業界におきましては、国内景気の回復による荷量増加への期待はあるものの、輸出貨物の増加は顕在化しておらず、引き続き厳しい状況が続きました。

このような事業環境の中、当社は、国際物流分野における海上貨物及び精密機器等の取扱額が減少したものの、新たに開設した京浜事業所の本稼動が売上に寄与し始めたほか、新規案件の獲得及び倉庫の客付けが進んだ結果、売上高は微減に留まりました。また、販売費及び一般管理費の削減や積極的な営業活動による倉庫の稼働率向上に努めた結果、営業利益は増加しました。

国内連結子会社におきましては、主要顧客の生産減少の影響を受け、売上高の減少に歯止めがかからず、経費削減を推し進めてはいるものの、利益を計上するには至らない状況であります。

中国連結子会社におきましては、今後の事業拡大に向けた事業再編を進めるとともに経費削減に努めてはいるものの、利益の大幅な改善には至りませんでした。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高37億41百万円(前年同期比1.7%減)、営業利益17百万円(前年同期比119.6%増)、経常損失26百万円(前年同期は経常損失20百万円)、四半期純損失31百万円(前年同期は四半期純損失30百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 梱包事業部門

医療機器及び半導体機器の新規案件を獲得したものの、国際物流分野における海上貨物の取扱額が大きく減少したほか、既存の医療機器関連の3PL分野及び精密機器等の取扱額が減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高27億21百万円(前年同期比2.5%減)、セグメント利益(営業利益)87百万円(前年同期比28.3%減)となりました。

② 運輸事業部門

国際物流分野における海上貨物及び医療機器関連の3PL分野の取扱額が減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高5億72百万円(前年同期比3.9%減)、セグメント利益(営業利益)20百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

③ 倉庫事業部門

積極的な営業活動を展開し新規顧客の獲得を推し進めたことにより、売上高は増加しました。加えて、京浜事業所の開設に伴い周辺地域の集約化を図り、効率的運用に努めた結果、セグメント利益は大幅に改善いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高3億43百万円(前年同期比8.8%増)、セグメント利益(営業利益)35百万円(前年同期はセグメント利益(営業利益)0百万円)となりました。

④ 賃貸ビル事業部門

売上高は概ね前年同期と同水準で推移いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高1億4百万円(前年同期比0.2%減)、セグメント利益(営業利益)59百万円(前年同期比10.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の財政状況は、総資産227億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億79百万円の減少となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、67億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加3億57百万円、受取手形及び売掛金の減少1億93百万円等によるものであります。

固定資産につきましては、160億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億17百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少1億14百万円、リース資産の減少54百万円、投資その他の資産において、繰延税金資産の減少38百万円によるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、159億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億27百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、45億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億53百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少1億30百万円、短期借入金の増加5億17百万円によるものであります。

固定負債につきましては、114億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億80百万円減少いたしました。これは主に、社債の減少35百万円、長期借入金の減少4億80百万円、リース債務の減少48百万円及び金利スワップの減少1億18百万円によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、67億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の減少1億5百万円、その他有価証券評価差額金の増加19百万円、繰延ヘッジ損益の増加76百万円及び為替換算調整勘定の増加59百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の29.0%から29.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日公表の業績予想から変更はありません。また、今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,593,158	2,950,604
受取手形及び売掛金	3,401,872	3,208,673
商品及び製品	62,907	73,649
原材料及び貯蔵品	82,548	93,647
繰延税金資産	262,938	265,470
その他	299,980	149,401
貸倒引当金	△1,400	△1,400
流動資産合計	6,702,007	6,740,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,003,372	8,888,379
機械装置及び運搬具(純額)	112,364	108,277
土地	2,308,754	2,308,754
リース資産(純額)	2,623,289	2,569,007
その他(純額)	47,988	44,831
有形固定資産合計	14,095,768	13,919,250
無形固定資産		
リース資産	895	651
ソフトウェア	153,596	146,748
その他	6,555	6,654
無形固定資産合計	161,046	154,054
投資その他の資産		
投資有価証券	353,416	370,744
繰延税金資産	832,409	793,822
その他	833,463	820,305
投資その他の資産合計	2,019,289	1,984,872
固定資産合計	16,276,104	16,058,177
資産合計	22,978,111	22,798,224

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,093,100	962,829
短期借入金	1,786,996	2,304,738
1年内償還予定の社債	112,000	112,000
リース債務	198,592	196,309
未払法人税等	36,508	14,994
賞与引当金	148,084	90,873
その他	677,378	824,237
流動負債合計	4,052,660	4,505,982
固定負債		
社債	331,000	296,000
長期借入金	8,119,409	7,638,483
リース債務	2,495,876	2,447,165
退職給付引当金	565,968	568,804
資産除去債務	381,063	383,108
長期預り金	58,035	55,701
金利スワップ	222,767	104,410
固定負債合計	12,174,120	11,493,675
負債合計	16,226,780	15,999,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	1,884,388	1,779,136
自己株式	△2,988	△2,988
株主資本合計	6,846,394	6,741,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107,648	126,997
繰延ヘッジ損益	△143,908	△67,449
為替換算調整勘定	△150,042	△90,227
その他の包括利益累計額合計	△186,302	△30,679
少数株主持分	91,238	88,102
純資産合計	6,751,330	6,798,566
負債純資産合計	22,978,111	22,798,224

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,806,727	3,741,610
売上原価	3,216,085	3,165,804
売上総利益	590,641	575,806
販売費及び一般管理費		
販売費	292,411	279,264
一般管理費	290,372	279,289
販売費及び一般管理費合計	582,784	558,554
営業利益	7,857	17,252
営業外収益		
受取利息	2,255	2,247
受取配当金	2,237	2,857
受取保険金	2,036	104
その他	1,182	4,376
営業外収益合計	7,712	9,585
営業外費用		
支払利息	32,515	53,397
その他	3,978	0
営業外費用合計	36,494	53,397
経常損失(△)	△20,925	△26,559
特別利益		
会員権売却益	—	2,800
特別利益合計	—	2,800
特別損失		
固定資産売却損	—	1
投資有価証券評価損	2,860	—
特別損失合計	2,860	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△23,785	△23,761
法人税、住民税及び事業税	5,157	12,314
法人税等調整額	3,730	△1,517
法人税等合計	8,888	10,797
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△32,673	△34,558
少数株主損失(△)	△2,450	△2,841
四半期純損失(△)	△30,223	△31,716

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△32,673	△34,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,275	19,054
繰延ヘッジ損益	△53,831	76,458
為替換算調整勘定	33,965	59,815
その他の包括利益合計	△39,141	155,328
四半期包括利益	△71,814	120,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△68,765	123,906
少数株主に係る四半期包括利益	△3,048	△3,136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,790,859	595,573	315,871	104,423	3,806,727	3,806,727
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	75	—	—	75	75
計	2,790,859	595,648	315,871	104,423	3,806,802	3,806,802
セグメント利益	121,442	18,976	679	66,785	207,883	207,883

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	207,883
セグメント間取引消去	410
全社費用(注)	△200,437
四半期連結損益計算書の営業利益	7,857

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,721,653	572,061	343,689	104,206	3,741,610	3,741,610
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	113	—	—	113	113
計	2,721,653	572,174	343,689	104,206	3,741,723	3,741,723
セグメント利益	87,109	20,263	35,678	59,617	202,668	202,668

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	202,668
セグメント間取引消去	289
全社費用(注)	△185,706
四半期連結損益計算書の営業利益	17,252

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。